

は　じ　め　に

札幌市衛生研究所は、創立25周年を迎えた昨年、念願の近代的新庁舎が完成し平成元年にふさわしい新しい環境の下で21世紀に向けて記念すべきスタートを切ったところでございます。

今、われわれをとりまく保健衛生環境は我国の経済および科学技術の発展に伴って著しい向上と変化が起ってまいりました。世界一の長寿国となった我国の高齢化社会は、国際化のすすむなかで、疾病構造の大幅な変化をもたらし、食品産業、環境汚染も又、新しい問題を提起しつつあります。

これらの問題に対応すべく当所においても、昭和52年以来予防医学の出発点ともいえる新生児、乳児の先天性代謝異常をはじめ多種類の疾患のマス・スクリーニングにとりくみ、その早期発見に著実な成果をあげ国際的にも評価をうけて参りました。又、直接市民の健康を守るため行政部門との密な連携のもとに大気汚染、スパイクタイヤによる道路粉塵、有機燐農薬による食品および環境汚染、輸入感染症等の早期発見による防疫についても、衛生行政の技術的中核として機能を充実し積極的に検査、研究を進めてきたところでございます。

一方、日進月歩の先端技術を公衆衛生の分野に導入し、より迅速正確な試験検査、より高度な調査研究が要求されている今、これを推進し地域社会の保健衛生向上に還元するべき時が来ていると考えます。

本所報は、これらの点をふまえ、それぞれの分担分野において日夜検査、研究を積み重ねてきた成果をまとめた冊子であります。この所報が、いささかなりとも関係の皆様のお役に立つことがありますならば望外の喜びであり、合わせて一層のご指導、ご鞭撻をおねがい申し上げる次第でございます。

平成元年12月20日

札幌市衛生研究所長

高　杉　信　男